土木賞選考委員会

木村　亮	京都大学名誉教授	岩波　基	岩波地下構造技術士事務所 （元早稲田大学教授）
田島芳満	東京大学教授	和田　卓	国土交通省
野中　賢	日経ＢＰ	髙松　諭	建設コンサルタンツ協会
西澤　格	日本建設機械施工協会	市原栄二	日建連表彰委員会土木部会
伊藤寿章	日建連表彰委員会土木部会	滝川龍誠	日建連表彰委員会土木部会

（2026年10月1日時点）

表彰パネル・賞牌



発注者（施設管理者）に贈られる、受賞したプロジェクト・構造物に取り付けることのできるブロンズ製表彰パネル



設計者、施工者及び建設関係者に贈られる賞牌

事業の意義を継承し
土木技術の進歩向上を目指す
日建連表彰土木賞への応募をお待ちしています

確かなものを　地球と未来に
一般社団法人 日本建設業連合会
JAPAN FEDERATION OF CONSTRUCTION CONTRACTORS

〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-8-5 東京建設会館5階
URL https://www.nikkenren.com/doboku/prize

日建連表彰 土木賞

The Construction Excellence Prize of the JFCC Award

日建連表彰
土木賞

日本建設業連合会（日建連）では、60年の長きにわたり、わが国の優れた建築物を表彰してきた「BCS賞」に並ぶ新たな表彰として、2020年、「日建連表彰 土木賞」を創設しました。
「土木賞」は、社会基盤として国民生活と経済活動を支える土木分野の優れたプロジェクト・構造物を表彰するものです。出来上がった構造物だけでなく、事業企画から設計・施工、維持管理までを視野に入れ、施工の過程で直面する様々な問題を解決しながら、関係者が一丸となり、現場で要求される品質をいかにクリアしたかを選考の視点とする新たな表彰制度です。
日建連は、良好な土木資産を創出し、国民生活と産業活動の基盤の充実に寄与すべく、土木賞をはじめとする活動を進めて参ります。

【日建連表彰 土木賞ロゴについて】
土木賞の特徴である「多様な関係者」を六角形の輪郭とし、
その共通する視点として、六角形の中心に位置する施工プロセスを具現化するため、
応募の多い代表的な土木構造物であるダム・トンネル・橋梁を配しました。
さらに、立方体として3次元を表現することで、3Dデータなど最新技術の活用を通した
土木技術の進歩向上への貢献を表しています。

日建連表彰「土木賞」の概要

① 募集の前年末までに概ね竣工した土木分野の**プロジェクト・構造物**を対象にします。

② 施工者は勿論のこと、発注者や設計者など幅広い関係者の応募が可能です。
日建連会員以外の建設会社が施工した案件も対象になります。

③ 施設管理者（発注者を含む）、設計者、施工者（これを支える専門工事業者等を含む）など**多様な関係者**を表彰対象者にします。

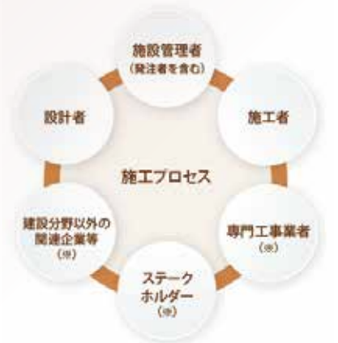
④ 施工者団体が設ける賞として、事業企画から維持管理までの総合評価に加え、**施工プロセスの視点**（施工プロセスの改善、良質な社会資本の効率的創出、土木技術の発展・伝承など）を重視します。

⑤ 固有の課題への取組みで特に優れているものを**特別賞**として表彰します。

⑥ 特別賞を含め10件内外を表彰します。

⑦ 受賞者には、表彰状、表彰パネル、賞牌を贈呈します。

⑧ 選考にあたっては、学識者、行政、建設コンサルタンツ、建設施工機械メーカー、メディア、施工者から構成される選考委員会で多面的な評価を行います。



※施設管理者（発注者等を含む）、設計者、施工者を支える関係者

特別賞について

総合評価の結果によらず、固有の課題に対する取組み（施工プロセスを支えた活動、技術開発など）で特に優れた案件を、土木賞の中で特別賞として表彰することとしています。
いわば、施工プロセスにおいて「**何かキラリと光る取組み**」に焦点を当てて選考を行います。

キラリと光る取組み
以下のような、型にはまらない切り口による課題への挑戦が、特別賞として着目されています。

- 新しい技術を活用しつつ、技術の伝承
- 構造物の歴史的価値と当時の施工技術の保全
- 地球温暖化対策（カーボンニュートラル）
- 前例がなく手探りの施工
- 地域住民との協働
- 厳しい工期への挑戦

日建連表彰「土木賞」で期待される効果

毎年、優良なプロジェクト・構造物を表彰し、広く内外に紹介することにより、土木に係る事業企画の質及び計画・設計、施工、環境、維持管理、その他土木技術の進歩向上を図ることができます。
その結果、良好な土木資産を創出し、わが国の国民生活と産業活動の基盤の充実に寄与することが見込めます。（日建連の目的（定款３条）の達成）

受賞プロジェクト・マップ

※下記の番号と色は、次ページ以降に紹介している受賞プロジェクトに対応

■第1回(2020年)
■第2回(2021年)
■第3回(2022年)
■第4回(2023年)
■第5回(2024年)
■第6回(2025年)
■第7回(2026年)

❶北海道
3-1 4-12 6-3

❷青森県
3-7

❸岩手県
1-4 3-7 4-10

❹秋田県
1-8 5-1

❺宮城県
6-1

❻福島県
1-7 6-9 7-9 7-12

❼栃木県
4-3

❽群馬県
1-9 3-8

❾千葉県
2-7 2-8 5-11 6-5

❿東京都
2-4 2-11 3-5 3-6 4-4 4-6 4-7 5-3 5-5 6-6 6-8 7-6

⓫神奈川県
1-10 3-3 4-7 5-2 5-3 7-1

⓬新潟県
7-8

⓭長野県
2-6 4-8 5-6 6-2

⓮岐阜県
4-8

⓯福井県
4-9 6-10

⓰静岡県
3-12 6-2

⓱愛知県
6-7

⓲滋賀県
6-11

⓳京都府
1-2 4-2

⓴兵庫県
2-5 4-11 5-9

㉑大阪府
1-6 2-9 3-9 4-5 5-8 7-2 7-4 7-10

㉒奈良県
4-1

㉓鳥取県
3-11

㉔島根県
1-11 3-2

㉕広島県
5-10 6-12

㉖山口県
7-7

㉗愛媛県
2-2

㉘高知県
5-4

㉙福岡県
3-4 7-3

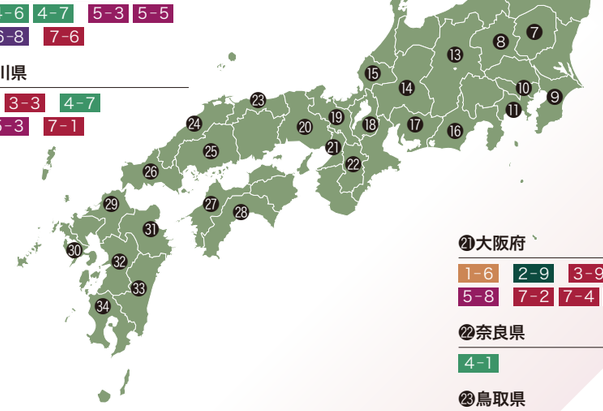
㉚長崎県
7-11

㉛大分県
2-1 5-7

㉜熊本県
1-1 1-3 2-3 5-12 6-4 7-5

㉝宮崎県
3-10

㉞鹿児島県
1-5 2-10



※複数都府県に跨るプロジェクトは、当該複数都府県にそれぞれ記載

**「日建連表彰 土木賞
－建設業の功績と価値を未来へ－」
PR映像**

PR映像はこちらのQRコードからご覧いただけます.
URL https://www.youtube.com/watch?v=MjBVphvYdDM



1 R3西湘海岸岩盤型潜水突堤整備工事



■所　在　地　神奈川県中郡大磯町
■施設管理者　国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所
■設　計　者　建設技術研究所
■施　工　者　大林組
■関　係　者　信幸建設　日本海洋サービス　森元工業　大蓉工業
　　ケイコン　日本ヒューム　ケミカル工事
■着　工　日　2021年10月15日
■竣　工　日　2024年3月29日

国内初　建設用3Dプリンタで製作したプレキャストブロックの
大型土木構造物への適用

R3 西湘海岸岩盤型潜水突堤整備工事において、本突堤は、平常時と高波浪時で求められる機能が異なるため、独自の 3 次元形状が必要となった。そこで、国内では初めて、突堤の先端摺付部に、建設用 3D プリンタで製作したプレキャストブロックを採用。これにより省人化や工程短縮、ブロック揚重の安定化、および波浪・砂礫の衝突への耐久性と品質の向上を実現した。

2 大阪駅前地下道東広場改築プロジェクト



■所　在　地　大阪府大阪市
■施設管理者　阪神電気鉄道
■設　計　者　阪急設計コンサルタント
■施　工　者　奥村・森本・ハンシン特定JV
■関　係　者　奥友建設　大阪防水建設社　光平鉄工
　　三井造船特機エンジニアリング　大阪メトロサービス
　　阪和電設　エム・ソフト
■着　工　日　2019年5月9日
■竣　工　日　2026年3月31日

大阪・関西万博に向けて！
大阪梅田地下空間の結節点となる地下広場を全面改築

供用開始から約 80 年経過した「大阪駅前地下道東広場」を大規模改築するプロジェクト。主要幹線道路である御堂筋の阪神前交差点と、地下鉄御堂筋線に上下を挟まれた 1 日約 40 万人の歩行者が通行する地下 1 階部分の躯体をすべて撤去・再構築する難工事である。関西万博開催に間に合わせるという難条件を、綿密な施工計画により無災害で克服した。

3 北九州響灘洋上ウインドファーム



■所　在　地　福岡県北九州市
■施設管理者　ひびきウインドエナジー
■設　計　者　五洋・日鉄エンジニアリング特定JV
■施　工　者　五洋・日鉄エンジニアリング特定JV
■関　係　者　五栄土木　寄神建設　若築建設　丸泰土木　ライト工業
　　森長組　ボンドエンジニアリング　ティー・シージャパン
　　大新土木　白海　壮栄　響灘潜水
■着　工　日　2022年3月1日
■竣　工　日　2025年12月19日

洋上風力の未来を拓く
国内最大級の大型洋上風力発電所建設への挑戦と克服

北九州響灘洋上ウインドファームは、複雑な地盤条件と日本海側の厳しい海象条件を克服し、国内最大級の洋上風力発電所を実現した。地盤条件に応じた基礎工法の採用や高度な設計技術、独創的な施工・物流体制により施工の確実性と効率性を両立し、我が国の洋上風力発電事業の発展に重要な知見を示した。

4 喜連瓜破橋大規模更新工事



■所　在　地　大阪府大阪市
■施設管理者　阪神高速道路
■設　計　者　大成・富士ピーエス・MMB異工種JV
■施　工　者　大成・富士ピーエス・MMB異工種JV
■関　係　者　盛起建設　喜多重機興業　間瀬建設　コンクリートコーリング
　　ティ・ビー・シー・ダイヤモンド　根建組　山形電気
　　瀧上工業　CORE技術研究所　大和仮設工業
　　植田建設工業　宇徳　オックスジャッキ　平野クレーン工業
　　丸喜興業
■着　工　日　2021年7月1日
■竣　工　日　2025年10月31日

2年半にわたる都市交通遮断を伴う老朽橋梁の撤去・新設における
最適な施工方法の探求

交通量一日約 7 万台の街路交差点直上の老朽橋架替え工事。周辺には商業・公共施設、大規模マンションが隣接。街路交通、市民生活への影響を最小限に抑え、約 6,500t の PC 箱桁橋撤去を可能にしたのは、直下交差点に固定規制を設けず、空中完結型の撤去技術を適用した「オーバーザブリッジ工法」。都市高速道路更新事業に大いに貢献できる画期的な工法である。

5 熊本57号滝室坂トンネル新設工事



■所　在　地　熊本県阿蘇市
■施設管理者　国土交通省九州地方整備局熊本河川国道事務所
■設　計　者　エイト日本技術開発
■施　工　者　大成・杉本特定JV　清水・東急・森特定JV
■関　係　者　ティーネットジャパン　成豊建設　玉石重機　石田土木
　　山﨑建設　鉱研工業
■着　工　日　2018年4月3日
■竣　工　日　2025年3月31日

過去に例のない阿蘇外輪山の大規模火砕流堆積物を貫く
大断面長大トンネル

滝室坂トンネルは、豪雨被災時の代替路確保と走行性向上を目的として計画された長大トンネルである。地質は年代の異なる阿蘇火砕流堆積物で複雑かつ脆弱であったが、トンネル掘削においては情報化施工により地山状況や大量湧水を探りながら適切な対策工を施工して乗り越えた。また、地下水圧の作用が懸念される区間では RC 覆工構造を採用し、長期耐久性を確保した。

6 JR御茶ノ水駅改良工事



■所　在　地　東京都千代田区
■施設管理者　東日本旅客鉄道
■設　計　者　JR東日本コンサルタンツ　鹿島建設・大成建設JV
■施　工　者　鹿島建設・大成建設JV
■関　係　者　日栄興業　寄神建設　高幸建設　技研施工
　　ケミカルグラウト　三信建設工業　東亜利根ボーリング
　　横河ブリッジ　コンクリートコーリング　東京計測
　　東横エルメス　プロスタエクセキューション
■着　工　日　2012年9月7日
■竣　工　日　2025年3月31日

四方を囲まれた狭隘空間における
バリアフリー整備・耐震補強

四方を河川・橋梁・建築物に囲まれた狭隘な御茶ノ水駅において、鉄道工事特有の制約下で、列車運行と 1 日約 20 万人の利用者の安全を確保しつつ、神田川上の通年仮設桟橋、超低空頭場所打ち杭機とホームハッチによるホーム下連続施工、および擁壁の耐震補強を実現し、バリアフリー化と耐震性能向上を成し遂げた事業である。

7 秋芳鉱業　桟橋延伸工事



■所　在　地　山口県長門市
■施設管理者　秋芳鉱業
■設　計　者　五洋建設
■施　工　者　五洋・東洋・クロセ特定JV
■関　係　者　深田サルベージ建設　松浦通運　エスオーシーマリン
　　住友大阪セメント
■着　工　日　2023年3月10日
■竣　工　日　2025年10月31日

高精度な気象予測とSRC長大PCaで完遂した
稼働中基地の2バース化

運用中の既設桟橋先端部に延長 175m の新桟橋を建設。日本海の厳しい海象や、大型起重機船による作業可能日が年 2 回（各 4 日間）の定期修繕期間のみとなる制約に対応するため、自社開発の「気海象予測システム」を活用した工程管理に加え、SRC 構造や直吊り方式などの工夫により、前例のない約 60m の長大なプレキャスト部材による架設を実現した。

8 信越線新潟駅付近高架化工事



■所　在　地　新潟県新潟市
■施設管理者　新潟市　東日本旅客鉄道
■設　計　者　パシフィックコンサルタンツ　トーニチコンサルタント
　　JR東日本コンサルタンツ　復建エンジニヤリング　日本交通技術
■施　工　者　大成建設・大日本土木特定JV　大林組・奥村組・植木組特定JV
　　鉄建・前田・東亜・加賀田組特定JV　鹿島・西松・福田特定JV
■関　係　者　松田組　新和組　新潟藤田組　架設工事佐々木組　鮎活
　　佐久間鉄筋工業　山田工業　白岩工業　国土
　　ハンシン建設　建研工業　杉崎基礎　アクティオ
　　ジェイテック　新潟生コンクリート協同組合
■着　工　日　2007年12月20日
■竣　工　日　2025年12月10日

困難な条件を克服し大幅なCO_2削減と日本で唯一の交通結節機能を実現した
鉄道高架橋の構築

新幹線・在来線・路線バスを高架構造内でシームレスに結ぶ、交通結節機能を備えたターミナル駅を日本で初めて構築し、利便性を飛躍的に向上させたプロジェクト。新幹線と在来線に囲まれた厳しい狭隘環境を、高度な施工技術により工期を確保した。また、適切なアルカリシリカ反応抑制対策により、4,400t 超の CO_2 排出削減を実現した。

第7回(2026年)

The 7th Construction Excellence Prize

9 千五沢ダム再開発事業



■所　在　地　福島県石川郡石川町
■施設管理者　福島県県中建設事務所
■設　計　者　ダム技術センター　日本工営
■施　工　者　清水・青木あすなろ・あおい特定JV
■関　係　者　大崎建設　横山基礎工事　ジェコス　YCG福島
日本基礎技術　光　エスシー・マシーナリ　三瓶重機建設
日本道路　東亜道路工業　睦商事　美和電気工業　ミルックス
■着　工　日　2014年10月6日
■竣　工　日　2024年3月29日

日本初の大型ラビリンス型洪水吐
～環境影響を極限まで抑制した既存ダム再開発～

千五沢ダム再開発事業は既存灌漑専用ダムの空き容量を活用し、治水機能を付加する事業である。先端にオリフィスを有する大規模ラビリンス堰を採用し、治水能力向上と自然環境保全との両立に成功した。そのデザインは、世界的に見ても唯一無二の高い独創性を持つ。限定された期間内において 4D-CIM を活用した確実な施工により、全工期無災害を達成した。

10 北港テクノポート線インフラ部整備工事



■所　在　地　大阪府大阪市
■施設管理者　大阪港湾局(事業主)　大阪市高速電気軌道(発注者)
■設　計　者　大阪メトロサービス　中央復建コンサルタンツ
地域地盤環境研究所
■施　工　者　大林・熊谷・東急・東洋特定JV
■関　係　者　JIMテクノロジー　IKK　吉田直土木　岸本建設
■着　工　日　2020年7月3日
■竣　工　日　2024年3月29日

地中支障物が残置された軟弱埋立て地盤における
地下鉄延伸事業の急速施工

北港テクノポート線インフラ部整備工事は、大阪・関西万博を支える重要な地下鉄延伸事業として、軟弱な埋立地盤と地中支障物が残置された難条件下で施工された。独創的なシールド掘進技術や細分型 ECI 方式による工程短縮を実現し、弾性ワッシャー採用による長期的な健全性も確保し、限られた期間内で確実に完成させた。

【特別賞】
11 五島洋上ウィンドファーム



■所　在　地　長崎県五島市
■施設管理者　五島フローティングウィンドファーム
■設　計　者　戸田建設
■施　工　者　戸田建設
■関　係　者　三信工業　今村組　関西設計　三菱長崎機工　ニッチツ
協和機工　日本ヒューム　山九　吉田組　住友電気工業
クラフティア　住友電設　日立製作所　イー・ウィンド
■着　工　日　2022年4月1日
■竣　工　日　2026年1月4日

国内初の商用浮体式洋上ウィンドファームの
量産化建設

国内初となる商用の浮体式洋上ウィンドファームで、出力 2.1MW の風車 8 基を備える。浮体構造物は、特殊な設備や高難度の技術を使わずに製造できる構造とし、地元企業の技術力を活用。浮体構造物の浜出しや風車の組み立て工程を合理化して洋上作業を削減したことなどで、従来に比べて建設費を 25%、工期を 12%縮減。浮体式洋上風力発電施設の量産化への道筋を付けた。

【特別賞】
12 特定廃棄物埋立処分事業に係る詰替・搬出プロジェクト



■所　在　地　福島県内全域
■施設管理者　環境省福島環境局
■施　工　者　奥村・株木・森本特定JV
■関　係　者　会和工務店　奥村機械製作　日建リース工業　泉建設
佐々木硝子　西友　松本石材建設　村崎建設　多田建設
日本通運　DOWAエコシステム　高葉建設　五大
伊藤忠テクノソリューションズ
■着　工　日　2016年7月26日
■竣　工　日　2024年3月31

福島復興に向けて、全国初の放射性物質に汚染された
廃棄物最終処分事業

東北地方太平洋沖地震に伴う原発事故で放出された放射性物質により汚染された、約 48 万㎥に及ぶ特定廃棄物を福島県内約 180 カ所の保管場所から搬出し、埋立処分施設に輸送する前例のないプロジェクト。細心の被ばく線量管理や環境安全対策に加え、リアルタイム輸送統合管理システムを駆使し約 8 年の工期を通じて無事故を達成。福島復興への歩みに貢献した。

※竣工日は一部、部分竣工日を表記している場合がございます。

受賞案件の詳細はこちらのQRコードからご覧いただけます。
URL https://www.nikkenren.com/doboku/prize/award/2026

これまでの受賞一覧(第1～6回)

第1回(2020年)

The 1st Construction Excellence Prize

1 阿蘇大橋地区斜面防災対策工事

i-Constructionを活用した迅速・安全な
大規模災害復旧



所在地／熊本県　竣工日／2017年11月20日

2 天ヶ瀬ダム再開発 トンネル放流設備流入部建設工事

3次元に可視化して高難度な水中工事を克服



所在地／京都府　竣工日／2019年3月29日

3 荒瀬ダム本体等撤去工事

日本初の本格的なコンクリートダム撤去工事



所在地／熊本県　竣工日／2018年3月20日

4 国道45号夏井高架橋工事における i-Bridge の取組み

橋梁工事における生産性向上「i-Bridge」を実施



所在地／岩手県　竣工日／2018年9月28日

5 鶴田ダム再開発事業

ダム再生ビジョンを代表するリーディングプロジェクト



所在地／鹿児島県　竣工日／2018年10月31日

6 阪神高速道路大和川線 シールドトンネル工事

特殊条件下における大断面シールドトンネルの施工



所在地／大阪府　竣工日／2019年3月31日

7 福島第一原子力発電所陸側遮水壁 (凍土壁)

世界最大の凍土遮水壁による廃炉・復興への貢献



所在地／福島県　竣工日／2018年3月31日

8 三種浜田風力発電所建設プロジェクト

ウインドリフト工法による巨大風車の組立



所在地／秋田県　竣工日／2017年10月31日

9 ハッ場ダム本体建設工事

高品質を確保しつつ大幅な工程短縮を実現



所在地／群馬県　竣工日／2020年3月31日

10 横浜北線鉄道(JR, 京急)交差部 新設工事

10線路と立体交差する曲線桁の跨線道路橋



所在地／神奈川県　竣工日／2017年10月30日

【特別賞】
11 湖陵多伎道路多伎PC上部工事

橋梁工事の生産性向上・品質管理への取組み



所在地／島根県　竣工日／2019年1月31日

受賞案件の詳細はこちらのQRコードからご覧いただけます。
URL https://www.nikkenren.com/doboku/prize/award/2020

第2回（2021年）

The 2nd Construction Excellence Prize

1 大分川ダム建設工事
フィルダム建設へのICT実装による
i-Construction推進加速



所在地／大分県　竣工日／2020年3月31日

2 鹿野川ダムトンネル洪水吐新設工事
運用中のダムにトンネル洪水吐を新設させる
という非常に難易度が高い工事



所在地／愛媛県　竣工日／2019年11月29日

3 国道325号 阿蘇大橋上下部工事（新阿蘇大橋 渡河部）
熊本地震からの早期復興にむけた
阿蘇大橋の架け替え工事



所在地／熊本県　竣工日／2021年3月3日

4 首都高速1号羽田線 東品川桟橋・鮫洲埋立部更新事業（I期）
高速施工と高耐久化を実現した都市高速道路の更新



所在地／東京都　竣工日／2020年5月28日

5 新名神高速道路 神戸ジャンクション建設プロジェクト
社会的影響を最小限にした供用高速道路の
ジャンクション増設工事



所在地／兵庫県　竣工日／2018年8月19日

6 中央自動車道（特定更新等） 弓振川橋床版取替工事
夜間のみの交通規制で床版を取り替える
「DAYFREE」の開発と施工



所在地／長野県　竣工日／2021年5月24日

7 東京外環自動車道　大和田工事
住宅密集地における国内最大規模の
開削トンネル・シールド工事



所在地／千葉県　竣工日／2019年7月9日

8 東京外環自動車道 京成管野アンダーパス工事
鉄道下の道路交差部函体の世界最大断面への挑戦



所在地／千葉県　竣工日／2018年3月31日

9 阪神高速道路 西船場 JCT 下部その他工事
都市高速道路を供用しながらの拡幅技術



所在地／大阪府　竣工日／2020年8月31日

10 北薩横断道路 北薩トンネル出水工区
山岳トンネルの大量湧水を減水する
「RPG（Ring-Post-Grouting）工法」の開発



所在地／鹿児島県　竣工日／2017年3月17日

【特別賞】

11 常磐橋修復事業
伝統技法の継承と最先端技術の組み合わせによる
歴史的名橋の修復



所在地／東京都　竣工日／2020年9月30日

受賞案件の詳細はこちらのQRコードからご覧いただけます。
URL https://www.nikkenren.com/doboku/prize/award/2021

第3回（2022年）

The 3rd Construction Excellence Prize

1 一般国道40号 音威子府村 音中トンネル工事
蛇紋岩の強大地圧下における山岳トンネルの建設



所在地／北海道　竣工日／2022年6月10日

2 千本ダム耐震補強改修プロジェクト
市民生活を支えて100年、文化遺産のインフラを
メンテナンスでさらに100年



所在地／島根県　竣工日／2020年12月23日

3 相鉄東急直通線 新横浜駅地下鉄交差部土木工事
駅の下に駅をつくる
～駅前交差点直下における大規模アンダーピニング



所在地／神奈川県　竣工日／2022年1月31日

4 高尾川地下河川整備事業
住宅密集地を流れる河川直下での地下河川整備



所在地／福岡県　竣工日／2020年7月30日

5 東京港臨港道路南北線沈埋函（4号函・5号函・6号函）製作・築造等工事
海中における長大コンクリート構造物
（沈埋トンネル函）の接合への挑戦



所在地／東京都　竣工日／2020年5月29日

6 東京メトロ銀座線渋谷駅移設工事
鉄道営業線大規模改良工事における
BIM/CIMの実践



所在地／東京都　竣工日／2021年3月15日

7 東北自動車道 十和田管内高速道路リニューアル工事
フルプレキャスト・コッター床版工法を用いた
新しい建設システムの構築



所在地／岩手県～青森県　竣工日／2022年3月22日

8 発電所水圧鉄管路のTBMによる斜坑掘削プロジェクト（神流川発電所）
グリーン社会の実現に向けた
水力発電需要に貢献する斜坑掘削技術の発展



所在地／群馬県　竣工日／2008年4月30日

9 阪神高速12号守口線床版更新工事
既設床版急速撤去工法と高耐久軽量PCaPC床版
を用いた床版更新技術の高度化



所在地／大阪府　竣工日／2021年4月30日

10 山須原発電所ダム通砂対策工事
国内初! 3ダム連携通砂事業を目指した
ダムリニューアルへの挑戦



所在地／宮崎県　竣工日／2022年5月31日

【特別賞】

11 史跡鳥取城跡擬宝珠橋復元工事
文化財である城跡の木造橋を日本初の工法で復元



所在地／鳥取県　竣工日／2019年3月29日

【特別賞】

12 浜松市沿岸域津波対策施設等整備事業 浜松防潮堤建設工事
地元と共に造った「CSGによる"日本最長"防潮堤」



所在地／静岡県　竣工日／2020年5月7日

受賞案件の詳細はこちらのQRコードからご覧いただけます。
URL https://www.nikkenren.com/doboku/prize/award/2022

第4回（2023年）

The 4th Construction Excellence Prize

1 赤谷3号砂防堰堤工事
国内初となる災害現場における砂防堰堤自動化施工



所在地／奈良県　竣工日／2023年3月20日

2 天ヶ瀬ダム再開発トンネル減勢池部建設工事（Ⅰ期～Ⅲ期）
困難な条件下における国内初の
超大断面トンネル型減勢工の建設



所在地／京都府　竣工日／2023年3月31日

3 五十里ダム施設改良工事・五十里ダム取水放流設備新設工事
今後のハイブリッドダムの取組みを促進する
無振動ダム堤体削孔技術の開発



所在地／栃木県　竣工日／2020年2月27日

4 環2地下トンネル（仮称）及び築地換気所（仮称）ほか築造工事（27―一環2築地工区）
高度に土地利用がされた東京都心での
道路建設における施工面での様々な工夫



所在地／東京都　竣工日／2023年3月16日

5 北大阪急行線の延伸事業のうち土木工事
地上49階の高層マンションに近接した支障物撤去
とシールド掘進を住民合意形成のもと施工



所在地／大阪府　竣工日／2023年6月30日

6 JR 飯田橋駅ホーム移設事業
徹底した機械化による急速施工で安全性向上
「過去に例のない軌道低下・ホーム低下工事」



所在地／東京都　竣工日／2022年5月31日

7 多摩川スカイブリッジ
国内最大の支間長を誇る橋梁～空、橋、河川の三層
が織りなす優雅な曲線とスレンダーなシルエット～



所在地／神奈川県～東京都　竣工日／2022年3月31日

8 中央自動車道上田川橋の床版取替え
オールプレキャストによるPC合成桁橋の
床版取替え技術の開発と急速施工



所在地／長野県～岐阜県　竣工日／2021年3月15日

9 北陸新幹線 福井開発高架橋建設プロジェクト
国内初のフルプレキャストによる
鉄道ラーメン高架橋の急速施工



所在地／福井県　竣工日／2021年7月5日

10 陸前高田市震災復興事業の工事施工等に関する一体的業務
土砂運搬専用吊り橋により工程を大幅に短縮した
大規模土工事



所在地／岩手県　竣工日／2021年2月28日

【特別賞】

11 廣野ゴルフ倶楽部コース改修工事
名門ゴルフ場を90年前の美しい原形へ復元する
―英国人設計者とともに歩んだ9か月―



所在地／兵庫県　竣工日／2019年9月30日

【特別賞】

12 芽登第二発電所　導水路改造プロジェクト
前例のない発破方法により極寒地の日本最古級
PC水路橋を解体! 電力インフラの導水路を更新



所在地／北海道　竣工日／2022年7月29日

受賞案件の詳細はこちらのQRコードからご覧いただけます。
URL https://www.nikkenren.com/doboku/prize/award/2023

第5回（2024年）

The 5th Construction Excellence Prize

1 秋田新幹線斉内川橋りょう改築工事
工期を2年短縮した活線施工での
河川改修事業のための新設橋りょう工事



所在地／秋田県　竣工日／2023年2月28日

2 JR横須賀線武蔵小杉駅2面2線化他
ECI方式での設計・施工による
駅周辺の混雑緩和に向けた取り組み



所在地／神奈川県　竣工日／2023年9月20日

3 首都高速道路 高速大師橋更新事業
高速1号羽田線の交通規制を伴った河川上での
横取り一括架替え



所在地／東京都～神奈川県　竣工日／2023年6月9日

4 新日下川放水路工事
早期通水により浸水被害から地域を守る
国内最長の放水路工事



所在地／高知県　竣工日／2023年7月31日

5 新宿駅東西自由通路新設他
約300万人が利用する
世界一のターミナル駅周辺の回遊性向上



所在地／東京都　竣工日／2022年5月20日

6 清内路水力発電所 新設工事の内土木・建築本工事
日本一の星空の村で日本一狭いトンネルを
NATM工法で5km掘削



所在地／長野県　竣工日／2022年7月20日

7 玉来ダム本体建設工事
洪水被害を経験してきた市民に
安全・安心を提供する洪水調節専用ダムの建設



所在地／大分県　竣工日／2023年3月15日

8 東海道線支線南2地区路盤新設他工事
狭隘近接東海道本線営業線直下での
交差部桁受替・直下切換工事



所在地／大阪府　竣工日／2024年2月29日

9 阪神高速3号神戸線床版更新工事
工程短縮と社会的影響の最小化に貢献する
都市高速道路の床版更新技術



所在地／兵庫県　竣工日／2023年10月31日

10 三ツ子島埠頭 第三桟橋新設工事
国内初のRC中空構造を採用した
大型プレキャスト部材による桟橋の急速化施工



所在地／広島県　竣工日／2023年8月31日

【特別賞】

11 蔵玉隧道・拡幅工事（県単道路改良（幹線）工事）
道路使用の安全と周辺住民の生活環境に配慮した
トンネル活線拡幅の施工



所在地／千葉県　竣工日／2023年3月24日

【特別賞】

12 白川発電所 熊本地震の震災復旧工事
震源断層などの影響で被災した
長距離かつ狭小な導水路トンネルの復旧と再生



所在地／熊本県　竣工日／2020年5月15日

※竣工日は一部、部分竣工日を表記している場合がございます。

受賞案件の詳細はこちらのQRコードからご覧いただけます。
URL https://www.nikkenren.com/doboku/prize/award/2024

1 女川原子力発電所 防潮堤かさ上げ工事



■所在地　宮城県牡鹿郡女川町～石巻市
■施設管理者　東北電力
■設計者　東北電力　鹿島建設
■施工者　鹿島建設
■関係者　加賀　北興建設
ケミカルグラウト　セイア
丸磯建設　大阪砕石エンジニアリング　大興物産　地震工学研究所　基礎地盤コンサルタンツ
リテックエンジニアリング
■着工日　2013年5月20日
■竣工日　2024年3月29日

東日本大震災被災地で安全性向上を追求し続けた国内最高レベルの防潮堤建設工事

東日本大震災の最新知見をもとに岩盤の断層面での挙動や大規模地すべりの発生場所を考慮し、震災時の津波高さ約 13m を大幅に上回る津波高さ 23.1m を設定して原子炉の安全対策を徹底追求した防潮堤かさ上げ工事。高圧噴射攪拌工法による改良地盤に下杭鋼管を建込み、鋼製遮水壁を一体化させた上杭鋼管をソケット結合させ海抜 17m の防潮堤を 29m にかさ上げした。

2 三遠南信自動車道の 青崩峠トンネル（仮称）整備事業



■所在地　長野県飯田市～愛知県浜松市
■施設管理者　国土交通省中部地方整備局
■設計者　片平新日本技研
■施工者　五洋建設　安藤・間
■関係者　飯田市　浜松市　東京都立大学都市環境学部　伊那谷自然友の会
日本応用地質学会　中日本高速道路　日本建設機械施工協会施工技術総合研究所　国立研究開発法人土木研究所　木下工務所　木部建設　デンカ
■着工日　2018年8月8日
■竣工日　2025年3月24日

強大な地山荷重を「いなす」支保構造のトンネルを中央構造線近傍で掘削

長野・静岡県境をまたぐ高規格幹線道路のトンネル工事。中央構造線からの離隔が約 500m 程度しかなく、強大な地山荷重が作用した。安全性と経済性を両立させるために、大土被り部では 54N/mm² の超高強度吹き付けコンクリートを導入した二重支保工を採用。また、支保とインバートの閉合に時間差を持たせ、荷重を「いなす」構造を取り入れて課題を克服した。

3 新桂沢ダム堤体建設工事



■所在地　北海道三笠市
■施設管理者　国土交通省北海道開発局
札幌開発建設部
■設計者　日本工営
■施工者　鹿島・岩田地崎・伊藤特定建設工事共同企業体
■関係者　山崎建設　栄建設　北興建設
■着工日　2016年8月26日
■竣工日　2024年3月22日

施工時期が限られる豪雪極寒地での同軸嵩上げによるコンクリートダム再開発

堤高を 11.9m 嵩上げすることにより総貯水容量を約 1.6 倍にしたダム再開発。厳しい気象条件から半年間に限定されたコンクリート打設に大型クレーンを適用し、越冬期間のコンクリート養生に新材料を活用。情報化施工、自動スライド型枠の採用により工事期間中も洪水調節機能と利水補給機能を維持し、豪雪極寒地における「同軸嵩上げ」を実現した。

4 立野ダム建設工事

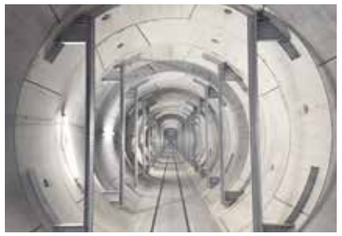


■所在地　熊本県菊池郡大津町～阿蘇郡南阿蘇村
■施設管理者　国土交通省九州地方整備局
立野ダム工事事務所
■設計者　ニュージェック　八千代エンジニアリング　建設技術研究所
■施工者　西松・安藤ハザマ・青木あすなろ特定建設工事共同企業体
■関係者　ダム技術センター　いであ
IHIインフラシステム　アルファナビゲーション
東京索道　日本基礎技術　中央精機
■着工日　2016年2月16日
■竣工日　2024年3月28日

熊本地震を乗り越え革新した柱状工法で挑む国内最大級の「穴あきダム」

熊本市中心部を流れる白川沿川の洪水被害を防ぐ国内最大級の流水型（水を貯めない）ダム建設。河床岩盤の一部に強度・変形性が劣る溶岩自破砕部が分布し、加えて熊本地震により本体工事の着手が約2年遅延する課題を、柱状工法による曲線重力式ダムの採用、ケーブルクレーンの自動化などにより工期短縮を図り、地震前の完成時期目標を達成した。

5 千葉印西エリア洞道新設工事



■所在地　千葉県船橋市～印西市
■施設管理者　東京電力パワーグリッド
■設計者・施工者　千葉印西エリア洞道新設工事共同企業体（大成建設、佐藤工業、大豊建設共同企業体）
■関係者　成豊建設　高橋建設　川野建設
アクティオ　加藤建設　コプロス
■着工日　2020年3月25日
■竣工日　2025年1月20日

崩壊性の高い砂地盤を超短工期で貫く シールドトンネルの築造

千葉ニュータウンエリアにおいて、データセンターの建設等による電力需要増加に対応するため、電力設備増強に向けた約 12.3km の地中送電線用のシールド洞道新設工事。需要急増の期限まで 3 年 3 ヶ月しかなく、トンネル地山の大半が崩壊性砂地盤で掘削も困難であるため、設計・計画を発注者と施工会社が連携、施工も泥水泥土複合シールド機等の新技術採用により、難題を解決した。

6 千代田幹線整備事業



■所在地　東京都千代田区～港区
■施設管理者　東京都下水道局
■設計者　日本水工設計
■施工者　奥村・大豊建設共同企業体
■関係者　奥村機械製作　IHI建材工業
ショーレジン　新トモエ電機工業
■着工日　2016年11月21日
■竣工日　2024年4月11日

日本最長の下水道構築へ 都心部を縦断する超長距離・大深度シールド施工

千代田区飯田橋から港区港南までの全長 8.7km の新設下水道幹線を整備し、既設 6 幹線を再構築するシールド工事。平均土被りが 51 mと大深度かつ高水圧下のもと、セグメント継手部の止水性を確保した全ピース同一六角形状の「ハニカムセグメント」や高耐久性ビット「スタミナビット」などの対策技術を採用し、大深度・長距離掘進を終えることができた。

7 東名阪自動車道弥富高架橋（下り線）の 大規模更新



■所在地　愛知県弥富市
■施設管理者　中日本高速道路
■設計者・施工者　大林組・本間組・加藤建設
特定建設工事共同企業体
■関係者　川口組　岸本建設　橋本建設
宮本組　ケミカル工事　三信工業
大林道路　富士ピー・エス　トヨタT&S建設　JFEエンジニアリング
コンクリートコーリング　第一カッター興業　揖斐川工業　ケイコンベルテクス
■着工日　2019年11月2日
■竣工日　2025年4月3日

高速道路の床版取り替えと拡幅の同時施工で工期を8カ月短縮

建設後 50 年が経過した高架橋の床版取り替えと車線拡幅を同時に行う工事。安全確保と工期短縮のため、高速道路本線を介さずに床版を搬出入できる揚重・搬送設備を日本で初めて導入し、新たに敷設するプレキャスト PC 床版同士の接合に、常温硬化型 UFC を用いた新構造を採用。これらの工夫により工期を 8 カ月短縮した。

8 日比谷線虎ノ門ヒルズ駅設置に伴う 土木工事



■所在地　東京都港区
■事業主体　都市再生機構
■発注者　東京地下鉄
■設計者　メトロ開発
■施工者　鹿島・大林特定建設工事共同企業体
太洋基礎工業　エムジェイ　ケミカルグラウト　向井建設　北陸産業　オックスジャッキ　新妻鋼業　高幸建設
アサノ大成基礎エンジニアリング　東亜利根ボーリング　コンクリートコーリング
カジマメカトロエンジニアリング　森ビル
■着工日　2015年12月3日
■竣工日　2023年6月20日

大規模交差点直下における地下鉄営業線運行下での新駅設置工事

東京メトロ日比谷線虎ノ門ヒルズ駅は、環状第二号線新橋・虎ノ門周辺地区の交通結節機能強化として、東京メトロ日比谷線の霞ケ関駅～神谷町駅間に新設。2015 年 12 月に着手し、東京オリンピック・パラリンピック開催前に供用開始という短工期を遵守。周辺再開発ビルとの同時施工で、多数の関係者との連携と協力により完成した。

9 福島第一原子力発電所 ALPS処理水希釈放出設備工事



■所在地　福島県双葉郡大熊町
■施設管理者　東京電力ホールディングス
■設計者・施工者　大成建設
■関係者　東亜建設工業　向井建設
アクティオ　大成ユーレック
成豊建設　JIMテクノロジー
高橋建設　丸栄コンクリート工業
■着工日　2021年6月2日
■竣工日　2024年2月27日

作業制限の多い施工条件に対応した海底シールドトンネルほか放水施設の築造

ALPS 処理水の希釈放水設備として、陸上の立坑水槽と沖合約 1km の放水口の両者をつなぐ放水トンネルなどを設置する工事。厳しい海象条件の下、シールド機到達用隔壁を内包する放水口ケーソンや、到達後のシールドと隔壁を海中から一体回収する国内初の工法を採用するなどの工夫により、限られた工期内での施工を達成した。

10 北陸新幹線、深山トンネル他



■所在地　福井県敦賀市
■施設管理者　鉄道建設・運輸施設整備支援機構
北陸新幹線建設局
■設計者・施工者　パシフィックコンサルタンツ
三井住友建設・極東興和・道端組特定建設工事共同企業体
■関係者　原工業　SMCシビルテクノス　スガナミ　楠工務店　オカモト・コンストラクション・システム　竹本基礎工事　植田基工
■着工日　2017年3月13日
■竣工日　2023年3月8日

ラムサール条約登録湿地の環境保全の取組みとトンネル工事等の生産性向上策

ラムサール条約登録湿地である中見池湿地の環境保全と工期短縮に配慮したトンネル、橋梁等工事。完成後の地下水位低下等で湿地の環境に影響を与えないよう、平面線形や計画高を変更するとともにトンネルを円形非排水構造とした。また、高架橋ではハーフプレキャスト部材を用い橋脚を急速施工する SPER 工法等を採用し、北陸新幹線開業に向けて工期を大幅に短縮した。

【特別賞】
11 新名神高速道路　信楽川橋下部工事



■所在地　滋賀県大津市
■施設管理者　西日本高速道路
■設計者　八千代エンジニアリング
■施工者　青木あすなろ建設
■関係者　日本ジュウキケンセツ　タグチ工業
三島土木　岡山建設
東興ジオテック
■着工日　2018年12月20日
■竣工日　2023年11月3日

斜度54度のインクラインを利用した急峻な山間部における橋梁下部工事

急峻な傾斜地での新名神高速橋脚工事。高低差 76m、斜度 54 度のインクライン設置にあたり、高精度の軌条架設が求められる支柱工事に、新工法として工場生産した支柱とブレス材を現場でボルト締結し、支柱パネルとして建てこむパラミックス工法と、大型クレーンでのパネルの横架設を採用したことで、架設精度と目標工期の両立を実現した。

【特別賞】
12 鳥越川1号砂防堰堤



■所在地　広島県広島市
■施設管理者　国土交通省中国地方整備局
広島西部山系砂防事務所
■設計者　いであ
■施工者　山陽工業
■着工日　2015年3月13日
■竣工日　2016年12月28日

砂防堰堤を活用し、地域の方と共に復興支援

未明からの豪雨により広島県の住宅地が土石流に襲われ、77 名の尊い命が失われた。発災翌日から現地に入り、10 年に渡り復興に携わり、思いは被災者と同じ「災害を若い世代に語り継ぎ、風化させない」。現場学習会を通じた自然災害知識・防災意識向上、土木の魅力発信への取組みは、「地域の守り手としての建設業」のイメージアップの好事例である。

※竣工日は一部、部分竣工日を表記している場合がございます。

受賞案件の詳細はこちらのQRコードからご覧いただけます。
URL https://www.nikkenren.com/doboku/prize/award/2025

選考〜受賞後

第二次選考の様子（現地調査、プレゼンテーション）





表彰式の様子





表彰パネルの設置風景



阿蘇大橋地区斜面防災対策工事（第１回土木賞受賞）



国道325号阿蘇大橋上下部工事（新阿蘇大橋渡河部）（第2回土木賞受賞）



大分川ダム建設工事（第2回土木賞受賞）

年間スケジュール

11月	次年募集要項発表
1月	募集（約1カ月）
〜4月頃	第一次選考（書類選考）
〜6月	第二次選考（現地調査、プレゼンテーション）
8〜9月	選考結果公表
11〜12月	表彰式

応募プロジェクトの事例

事例1　技術開発により大幅な生産性の向上（工期短縮）を図った工事

■施工プロセスの視点　生産性向上（工期短縮）　環境の維持（CO_2排出量削減）

急速施工技術として実績のある○○工法について打設後、○時間で型枠が外される状況でも所定の耐久性を確保できることを確認し、同工法の採用を決定、大幅な工期短縮を実現した。

事例2　徹底的な無人化施工技術の活用により、工事現場の安全確保を図った工事

■施工プロセスの視点　生産性向上（機械化・ロボット化、i-Construction）　特別な事業マネジメント　復興支援

人が立ち入ることができない条件の工事現場において、調査・設計・施工・管理の**すべての段階においてi-Constructionを取り入れ**、安全かつ迅速に工事を進めるとともに、受発注者が一体となった**事業マネジメント体制を構築**することで、早期完成を実現した。

事例3　狭隘で制約が多い小規模現場を工夫により問題解決を図った工事

■施工プロセスの視点　生産性向上（工期短縮）　特別な安全対策（第三者、施工者）　小規模工事

他工事近接現場で、**人力による運搬に頼らざるを得ない等の小規模ながら施工条件に制約が多く**、工期遵守や安全性向上のために、**建設機械の改良、張りブロックの小型化の提案**などにより、これらの課題を解決した。